

日本文学科	古文	受験番号	氏名
-------	----	------	----

1

問 1	x	ウ
問 2	㉔ 形容詞	㉕ 助詞
問 3	古いというものも消し飛んでしまいそうな気持ち	
問 4	めでたき	
問 5	水鳥をみずの上の姿だけど、どうして他人事 <small>ひとごと</small> のように見られようか。私だって同様、悩み多い人生を傍目 <small>たがめ</small> にはうかうかとその日暮らしにしているのだから、私にも人知れぬ深い悩みがあるように、水鳥にも、辛い想い(水面下の足掻き)があるのです。	
問 6	水鳥が水面下で、人目につかないように足掻きをあくせくと続けている状態。	
問 7	和歌の第三句(腰句)と第四句との続き具合の悪さをいうが、ここでは、拙 <small>たな</small> い歌という一般的な意味で用いられている。	

2

①	語る。 日本最古の歴史書(ないし歴史物語)。七二二年に成立。神話・伝説と多くの歌謡により日本統一の由来を語る。
②	語る。 紫式部作で平安中期の長編の作り物語。光源氏の宮廷生活を中心に才媛と織りなす華やかな生涯が語られている。
③	語る。 編年体による歴史物語で南北朝時代に成立。後醍醐天皇の隠岐脱出と新政樹立まで一五〇年余りが語られている。